

イントロダクション：クリスチャンとして身に付けるのが最も難しい習慣は堅実な祈りの生活です。満足のいく個人の祈りの時間というのはなかなか取りにくいもので、クリスチャンであっても時たま気が向いた時に、あるいは不定期に行き当たりばつりに祈る人も多いのではないでしょうか。それはキリストの体である群れの中でも決して珍しいことではありません。妨げの原因となるものはたくさんあります。仕事は生活するために不可欠ですが、その人の時間のほとんどを取られてしまいます。子育ても同様、特に子供が小さいうちは多くの時間を要します。その他にも祈りの障害となる要素は山ほどあり、一つ一つ挙げることもできますが、この説教の目的はあなたの祈りは足りないやましい気持ちにさせることなく、今日ここに集っているあなたがたに祈りの力を信じてもらい、実行に移し、何よりもイエス様と個人的な時間を持てるようになることです。

私たちは自分が好きなことのためには喜んで時間を取ります。私はドクターから 20 ポンド減量するように言われ、運動をするように勧められました。私は「先生、それは良いのですがどうやって時間を作れというのですか？」と聞きました。ドクターは私をじっと見て、「何が何でも時間を作ってください。」と言いました。私の体は運動不足のためどんどん弱くなり、良い食事を摂っていなかったためどんどん体重が増えていたのです。私は義理の兄弟にどうやって減量に成功したのかを聞いたことがあります。私は質問を絞り、大事なことを 2 つだけ教えてくれと頼んだら彼の答えは「もっと運動をし、食べる量を減らす」でした。私が望んでいた答えではありませんでしたがまさに単純明快、やるべきことはそれだけだったのです。

ここで言いたいのは、人生に大切なことのためには時間を取らなければいけないということです。祈りも例外ではありません。このメッセージではこの教会が目指すべきゴール、神の御心に沿った目標ラインを決め、しかもなお今の生活よりも忙しく感じない方法を提示したいと思います。言い換えれば基本的な祈りの概念を通して、祈りを生活の最も中心部に持ってこられるようにしたいと思います。

1. 祈禱会は最も出席率の悪い集会

もしある教会で日曜礼拝出席者が 100 人だとしたら平日の礼拝はたいていその半分の 50 人くらい、いや、50 人でも牧師は大喜びするでしょう。そして毎週の祈禱会をやりましょうということになると人数は大幅に減ります。定期的に出席する人は 10~15 人でしょう。それは決して珍しいことではありません。

2. 祈りは最も大切なこと

これについては異論はないでしょう。もちろん祈りは一番大切です。しかし敵もそれを知っています。だから私たちが祈るための部屋に入らないよう敵は必死で阻止しようとするのです。たいてい祈りの時間の前には 5 つほどやらなければならないことを思いつくものです。キッチンの掃除をし、掃除機をかけ、窓を拭き、ガレージを片付け、庭の手入れをし…祈りの時間が近づくとつれどンドンやるが出てきます。

3. 祈りの時間を取れば教会の仕事に追われずにすむ

かつて私は教会の仕事があまりにも忙しくて他に何もできなかったことがあります。ジュリーのため、まだ赤ちゃんだったアナのため、家のため、そして私自身のための時間がありませんでした。私は教会のことで忙しくしていたので神様はそれをご存知でニコニコしながら私を見守ってくれているのだと思っていました。それはまったく正しくなかったのですが勝手にそう感じていたのです。私は祈りの時間さえ持てませんでした。毎日仕事に行き、家に帰ると火曜の夜の集会、水曜の夜の礼拝、木曜も何かしら用事があり、土曜は掃除の日か男性の朝食祈禱会、そしてもちろん日曜は朝と夜の礼拝へ・・・という生活だったのでまったく祈れなかったのです。そのような生活を何年か続けていたら私は本当に疲れ燃え尽き、毎日通う自宅から 10 ブロックほどの所にある教会に向かうだけで胃が痛むようになっていました。

私はあえて集会をたくさん入れてあなたのカレンダーを埋めることはしません。あなた自身の祈りの生活を確立してより質の高いものにしてください。私たちはすばらしい場所に恵まれています。私たちはこの教会の庭の手入れをしたり駐車場の整備をしたり会堂をピカピカにする必要はありません。すばらしい場所を使わせていただいています。しかしあなた自身にも祝福の場所があるはずで、たとえば車の中も祈ったり神様と対話する理想の場所になります。イエス様のために時間を作りましょう。アーメン！

4. 祈りは教えられるものではなく自分でつかむもの

イエスの弟子たちがどのように祈ったらよいかイエスに質問した時、ある者は「これは祈りについてのセミナーを開いてもらおう絶好のチャンスだ！」と期待したことでしょう。ところが弟子たちに与えられたのは 6 週間のセミナーではなく、3、4 段落の短い概要でした。「だからこう祈りなさい」、イエス様はおっしゃいました。「天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように…」

結論：一日数分でも祈りの時間を取るようにしましょう。目的を持った祈りをしましょう。仕事に向かう車の中で、あるいは次の用事までの数分のリラックスの時、時間の取り方はあなたの自由です。私が一番言いたいのはこの事です。「いつでも祈りなさい。失望してはなりません。」